

=====

RIKKYO UNIVERSITY
VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE

2020.06.12

=====

※[Volunteer-news]のNo.に誤りがありましたので、訂正させていただきます。先週号6/5は[Volunteer-news 185]、
今週号6/12が [Volunteer-news 186] です。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

こんにちは。立教大学ボランティアセンターメールマガジン6月12日号です。

6月に入り、街では、少しずつ通学・通勤の人々が見られるようになりましたが、先日の新聞によると、大学ではオンライン授業がほとんどで、対面授業完全実施は1割とのことでした。授業のオンライン化に伴い、「資料や課題が増えて忙しい。」「困った時に、同じ授業の学生とコミュニケーションを取るのが難しい。」といった声を聞きますが、「質問・発言がしやすくなり、先生との距離も近くなった。」というメリットを挙げる学生もいます。

このように、どんな状況の中でも、何か良いこと、どこか工夫できる場所、その状況だからこそできることを見つけて、学問への理解を深めていくことができると、より充実した学びに繋がりますね。

私たちボランティアセンターのスタッフも、例年とは違うスタイルの中で、皆さんのボランティアへの一歩を応援していけるよう、いつも最善の方法を探していきたいと思えます。



CONTENTS

- (1) ボランティアサークル紹介
- (2) 先輩から新入生・在校生のみなさんへ「ことば・バトン」
- (3) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報

=====

(1) 本学学生ボランティアサークル紹介

=====

☆Three-S (スリーエス) 【新座】

Three-S(スリーエス:Support Station by Students)は学生が主体となって東日本大震災の被災地の現状を知り、想いを発信するサークルです。

東日本大震災から 10 年近くが経過し、復興が着々と進んできている中で私たちは現地に足を運び、地域の住民の方々と交流をし、風化を防止するために東京でも様々な活動を行っています。

年 3 回の合宿で実際に現地へ赴き、毎週行われるミーティングでは防災クイズなどを和気藹々と実施しています。

ボランティアをやってみたい、東北に行ってみたい、災害や防災について興味がある、復興を通じた町づくりに関心がある、などなど気になった方は是非ご連絡ください！

Twitter: @Three_S_rikkyo



☆Frontiers【池袋】

私たち Frontiers は、東日本大震災の際、早期にボランティア活動へ向かった学生によって結成された復興支援サークルです！

年 2 回程度、宮城県気仙沼市・岩手県陸前高田市を訪れるツアーをメイン活動に、現地での子ども向けイベント「クリスマス会」の運営なども行っています。

ツアーは復興状況の視察や、現地の方々との出会い・交流を大事にしたもので、ここでしか味わえない貴重な体験が待っています！！

多くの先輩方が築いてきたつながり・交流を通して、Frontiers ならではの東北との関わりかた、復興支援について考えてみませんか?? ご連絡お待ちしております！！

Twitter : twitter.com/rikkyofrontiers Instagram : [instagram.com/wearefrontiers/](https://www.instagram.com/wearefrontiers/)

Email : frontiers.rdy@gmail.com



☆G.F.S【池袋】



皆さんは「片足」をだしたことがあるだろうか。私が新入生や在校生に一度だけでいいからやってほしいと思うことである。

「片足を出す」というのは自分自身が日常や大学生活に戻れる範囲(支障のない範囲)で新しいことに取り組んでみる姿勢であり、片足を知らない地に置いてみると自分でも思ってもいない出会いがあったりする。大学の中に籠って、知った友達とワイワイと楽しむ4年間もそれはそれで一つの学生生活として決して否定はしない。しかし「大学生は人生の夏休み」といわれるように正直、時間はたくさんあると3年間で痛感してきた。チャンスはたくさんあった。その中でボランティアをするもよし、留学、旅、スキルアップをするものよし、自分自身のアンテナが向くこと、何か一つ大学の外で見つけて取り組んでみてほしい。失敗したら、すぐに元の場所に踏み出した片足を戻せば大学がある。

あるとき友人が「何事もさ、できない理由じゃなくてやりたい理由だよ」と話をしてくれたことがある。自分の知らないことに挑戦することは確かに怖いかもしれない。しかし、「怖いからできない」と言うばかりでなく「怖いけれども、興味がわくからやってみたい」と視点を変えるだけで前向きに物事に取り組めると思う。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために全学オンライン授業となり、大学生は何もできないモヤモヤした日々が続いている。しかし、この期間を逆手に取り「何もできない」のではなく、「自分自身が大学生活でやってみたいこと」の「やりたい理由」を探すまたとない良いチャンスと考えるだけでワクワクして来ないだろうか。(次号に続く)



(3) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報

みなさん、こんにちは！陸前高田サテライト事務局です。

立教大学では2011年の東日本大震災以降、岩手県陸前高田市を中心に東北各地で復興支援活動や交流活動を継続しています。現在は、陸前高田市ご協力のもと、岩手大学の方々と共に同市の地域課題解決に貢献できるようなプログラムにも取り組んでいます。

陸前高田市と立教大学の歩みを少しずつ振り返りながら、学生の皆さんが陸前高田を訪

れることが出来るプログラムやスタッフによる耳ヨリ情報を掲載していきます！

★立教大学と陸前高田～Rの物語 vol.3 東日本大震災発生当時の立教大学

2011年3月11日、東日本大震災発生。春休み期間中だった立教大学もまた震度5弱の揺れに見舞われます。立教大学では、交通機関がストップして帰宅出来なくなった人々を教室等に受け入れました。教職員の中にも帰宅出来なくなった人もおり、大学に泊まって帰宅困難者の受け入れに従事した人もいます。震災から2週間後に予定されていた卒業式や4月の入学式は中止、授業開始も5月まで延期になりましたが、この間にも学部等や教職員・学生個人が、自分ができることを模索し取り組んでいきます。震災から約1か月後の4月21日、立教大学は組織的・継続的に復興支援活動を実施するための指針として「東日本大震災に伴う立教大学の復興活動支援方針」を策定、「立教大学東日本大震災復興支援本部」を設置します。授業開始後の6月11日には2003年に開始した夏季フィールドワーク林業体験で繋がりがあった岩手県陸前高田市を「重点支援地域」に指定し、様々な活動を展開していくことになります。

★スタッフが出会った、たかたのこことば～渡辺 鉦悦さん（元・小友町新田地区自治会長）

『〇〇さん（スタッフの名前）、東京で大地震が来たら誰が一番最初に助ける？お子さん？奥さん？ご両親・・・？最初はね、自分を自分で助けてあげてください。自分が助からなければ誰も助けられないから。』（ちょっとした雑談から）

渡辺鉦悦さんは陸前高田市小友町自治会長として立教生ボランティアの受け入れをしてくださった、スタッフ曰く「思わず抱きしめたくなくなってしまっておじいちゃん」。

現在でも、一市民の視点から震災後の地域行政に関するお話しや市内を巡るスタディツアーのコーディネートをしてくださっています。

ご自宅に津波到達板を建てて、体験を継承しています。



*お問合せ 立教大学陸前高田サテライト事務局 rrs@rikkyo.ac.jp

*陸前高田サテライトの取り組みを発信中

公式 Instagram (@rikkyo_rrs) https://www.instagram.com/rikkyo_rrs/

立教大学ボランティアセンター

◎池袋キャンパス

場所：5号館1階

開室時間：月～金 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：30

◎新座キャンパス

場所：7号館2階

開室時間：月～金 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：30

※新型コロナウイルス感染拡大のため6月1日以降は短縮開室しております。

月～金 10:30～15:30、土曜日 10:30～12:30

但し、両キャンパスとも原則として入構制限となっています。

◎ホームページ

http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular_activities/volunteer.html

◎メールアドレス

volunteer@rikkyo.ac.jp

◎Facebook

https://www.facebook.com/立教大学ボランティアセンター-537537806439867/?ref=aymt_homepage_panel

◎TwitterID

@rikkyo_volucen

http://twitter.com/rikkyo_volucen/

◎Instagram

https://www.instagram.com/rikkyo_vc/?hl=ja

◎ボランティアナビ

<https://spirit.rikkyo.ac.jp/volunteer/SitePages/navi.aspx>

配信停止を希望の場合は以下の Google Form を送信してください。

<https://forms.gle/xFtZVvd94Je1nJwm7>